

# 埼玉県立川越南高等学校

Saitama Prefectural Kawagoe Minami High School

令和元年度 第2回学校評議員会  
令和元年度 第2回学校評価懇話会

## Report

令和2年1月31日(金)開催

令和2年1月31日(金)に令和元年度第2回学校評議員会・第2回学校評価懇話会を開催しました。当日は学校評議員、PTA・後援会代表者、生徒会生徒の学校関係者の皆さんと教職員による意見交換を行いました。14時30分から始まった学校評議員会では、新たな教育課程の編成について、続いて15時30分からの学校評価懇話会では、今年度の「学校自己評価システムシート\*1の年度末評価について、それぞれ学校からの説明を受けて各委員から御意見と次年度に向けた提言をいただきました。

以下に学校評議員会及び学校評価懇話会で委員の皆さんからいただいた御意見・御感想の一部を御紹介します。



### 第2回 学校評価懇話会

学校評議員：川越南高校の「文武両道」は大いに意味がある。中学生の実体から見たものと学校の実態に沿ったふさわしいものになっている。

学校評議員：新聞部の「なんこう新聞」を読んだり、文化祭や体育祭を見たりすることで川南生の充実した学校生活の様子が伝わり、地域の小・中学生の保護者の川越南高校に対するイメージが変わってきている。

保護者：入学した直後から学習に向かうための子供たちへの働きかけは大切である。時間の使い方を工夫するための指導をお願いしたい。また、保護者も子供たちのキャリア教育に関わる機会があれば良い。

生徒：授業内で生徒同士がコミュニケーションを取ることが学力向上に必要だと感じる。授業でグループワークを増やすと良い。意見を共有して互いに刺激を受けると考え方が広がる。

カリキュラム・マネジメントの実現に向けて

### 10年先を見据えた 新たな教育課程の編成

平成30年3月告示「高等学校学習指導要領」を踏まえ、川越南高校では現在新たな教育課程の編成作業を進めています。生徒や保護者、学校評議員等の皆さんからの御意見も反映し、社会に開かれた教育課程を編成し、学校教育目標の達成を目指していく「カリキュラム・マネジメント」を推進していきます。

※現在編成作業を進めている新たな教育課程は令和4年度入学生から実施します。

### \*1 学校自己評価システムシート

「学校自己評価システムシート」は、年度当初に本校が策定した目標の達成状況や次年度に向けた課題と改善策等に記載したものです。

「学校自己評価システム」とは、「目指す学校像」の実現に向けて学校が今年度どのような目標を掲げ、どのように取り組んでいくのかを明確にし、自ら評価を行うことで、学校の教育力の向上を図っていくものです。

「学校自己評価システムシート」に記載している目標体系等は次のとおりです。

- \* 目指す学校像：10年先を見据えた長期目標
- \* 重点目標：3～4年程度の中長期目標
- \* 評価項目：重点目標達成に向けた今年度の目標
- \* 具体的方策：評価項目を達成するための方策
- \* 評価指標：方策の達成状況を把握するための指標

### 第2回 学校評議員会

学校評議員：川越南高校への入学を志望する中学生の多くは、将来は漠然と大学に行きたいという思いと部活動や学校行事でも頑張っていて、仲間と日々の生活を充実させたいという願望が強い。また自分のやりたいことがはっきりしている生徒はそれほど多くはないだろうから、やはり1・2年次で様々な教科・科目を学んだ上で、進路を決めていくのが良い。こうしたニーズに応える新たな教育課程が編成できれば良い。

学校評議員：高校段階は基礎的なことをきちんと学んで、多少発展的な部分まで食い込んで行って文系や理系の選択や大学等の選択に繋げていければ良い。

学校評議員：早い段階で将来を見据えてと言ってもなかなか難しい。少し腰を据えて文系・理系の選択を考えられるのが良いと感じる。

学校評議員：「部活動の活動方針」が策定され、限られた時間の中でどれだけ集中してやるかというのが求められている。「部活動もやるし、勉強もやる」という雰囲気づくりが「文武両道」を目指す川越南高校にとっては大切だと思う。